

1 尾瀬国立公園看板
群馬県側の各入山口に設置。



4 木道・ベンチの整備
FSC材(カラマツ)を使った木道。



尾瀬国立公園内65kmの木道のうち、20kmを東京電力が整備。

7 太陽光パネル
東電小屋・富士見峠公衆トイレの2箇所に太陽光発電を導入。



10 大清水湿原のワイド木道
車いすの方も通れるワイド木道を約500mにわたり整備。



2 種子落としマット
外来種の侵入を防ぐために設置。



5 大堀川周辺
水芭蕉の撮影ポイントとして有名。



8 東電尾瀬橋
現在の東電尾瀬橋は4代目。平成20年6月に開通。



11 浄化槽のついた公衆トイレ
15ヶ所のうち7ヶ所を維持・管理。



3 至仏山荘のエコキュート
尾瀬の空気でお湯を沸かし、お風呂等に利用。



6 東電小屋
尾瀬ヶ原の中心部に位置する。



9 尾瀬沼周辺
夏にはニコウキスゲが一面に広がる。



12 山小屋での自然解説(宿泊者対象)
夕食後に自然解説付。東電小屋、鳩待・至仏・元湯・尾瀬沼の各山荘(実施しない日もあります)



入山にあたって

- 尾瀬は山岳地帯ですので、ふさわしい準備をして入山してください。特に靴や服装、雨具類には気を配りましょう。
- 時間的・体力的に余裕を持った行程を組みましょう。
- 木道は滑りやすいので、気をつけて歩きましょう。
- 倒木、落石など周囲の状況に気をつけてください。
- ツキノワグマに注意してください。

自分の安全は自分で確保。
自己責任で尾瀬の自然を楽しんでください。

尾瀬でのルール

- 靴底についた外来植物の種子を落としてから入山しましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 湿原には踏み込まないようにしましょう。
- 動植物は持ち込まない・持ち帰らないようにしましょう。
- 山小屋は予約制です。また石けん・シャンプーの使用は自粛しましょう。

小さな気遣いで、
尾瀬の繊細な自然をまもりましょう。



尾瀬国立公園
OZE NATIONAL PARK

湿原には踏み込まないで!

本州最大の高層湿原である尾瀬。この湿原が踏み荒らされ、荒廃してしまった悲しい歴史があることをご存知ですか?

昭和30年代半ばに入り、人々の生活に余裕が出始めると、「尾瀬ブーム」と言われるほど多くのハイカーが尾瀬を訪れるようになりました。しかし当時はまだ、木道や公衆トイレなどの自然をまもるための設備が整っておらず、またマナーも確立していなかったため、人々は自由に湿原を歩き回り、踏み荒らしてしまいました。その頃から、東京電力では木道を整備し、自然を傷めることなく自然とふれあっていただくよう、皆さんにもご協力をお願いしてきました。二度と悲しい尾瀬の歴史を繰り返さないよう、木道、登山道を外れずに歩いて下さい。



荒廃が最もひどかったアヤマ平。



アヤマ平



40年以上回復作業に取り組み、やっと緑が戻ってきています。

尾瀬 入山にあたって

群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがり雄大かつ繊細な自然が残ることで知られる尾瀬は、神秘的な美しさをたたえ、貴重な自然の宝庫であることから、古くから国立公園ならびに特別天然記念物に指定されています。尾瀬の自然を守るため、また、ご自身の安全を確保するため、入山にあたっての心がけを確認しておきましょう。

東京電力は、尾瀬国立公園特別保護地区の約7割、全体の約4割を所有し、長年その自然保護に取り組んでいます

TEPCO

<http://www.tepco.co.jp/oze/>

発行所
東京電力ホールディングス株式会社
リニューアブルパワー・カンパニー 水利・尾瀬グループ
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
☎03-6373-1111 (代表)



自分で出したゴミは持ち帰りましょう!

今ではすっかり定着した感のある「ゴミ持ち帰り」ですが、ほんの数十年前までは、ゴミは近くのゴミ箱へ、というのが当然の考え方でした。昭和40年代半ばには、尾瀬の群馬県側だけでも数百ものゴミ箱が置かれており、ゴミ箱に捨てられたゴミを片づけるだけでも大変な作業でした。ゴミと格闘する日が続く中で思いついたのが、ゴミ箱を撤去するという全く逆の発想でした。

昭和47年(1972年)、東京電力と関係会社の尾瀬林業(現:東京パワーテクノロジー)のこの提案が認められ、尾瀬のゴミ箱は撤去されました。これが「ゴミ持ち帰り運動」の始まりであり、このことも尾瀬が「日本における自然保護活動発祥の地」と呼ばれる理由の一つとなっているのです。



ハイカーの出すゴミであふれたゴミ箱(昭和40年代半ば)

- 凡 例**
- 初級者トレッキングコース (ほぼ平坦な道、木道含む)
 - 初級者トレッキングコース (比較的歩きやすい山道)
 - 中級者トレッキングコース (急勾配などあり、健脚向きの山道)
 - 県境
 - 登山道 (登山道から絶対に外れない事)
 - 保護活動・撮影ポイント (裏面の番号に対応)
 - 駐車場
 - 公共トイレ
 - 公共電話 (シーズン中のみ)
 - 勾配 (矢印の方向に登り)
 - 山小屋
 - 休憩所
 - 滝

